

# 令和5年度 地域連携・地域交流の実践

都留市立都留第二中学校

## 平和教育

### 『戦争体験者から平和の尊さを学ぶ』

(市の関係機関との連携)

学年集会 講師：都留市在住の方2名 (都留市長寿介護課の方々の協力)

#### 1. 目的と経緯

- ・戦争体験者の方からの話を聴き、平和の尊さと今ある日常の有り難さについて感じ、平和に対しての意識を高める。
- ・本校出身であるジャーナリストの山本美香さんが亡くなって10年にあたる令和4年度に「平和への思い」を受け、都留二中生徒会が「平和宣言」として採択し、令和5年度の活動にも継続している。
- ・本校では「お役に立ち隊」という勇志の活動があり、地域の清掃活動やふれあい活動を行っている。昨年度、都留市長寿介護のサポートを受けて、地区の60～90歳で構成する「似為芭笑(いしばしょ)さなえ会」において、ふれあい活動の機会があった。その中で戦争を体験した方々との出会いがあり、是非とも戦争について生徒に考えてもらいたいとの思いから、平和についての講話を実現するに至った。



#### 2. 内容

- ・大月空襲や戦争を経験した2人の講師より、スライド等を用いて講話を行った。1人は大月空襲を体験した際、当時、戦争によって大切な家族や友人を亡くすなど辛い経験について語られ、今ある平和の尊さ、有り難さについて実感を持ってもらいたいと訴えた。1人は戦時中、食糧難で大変ひもじい思いをした経験から、ものを大切にしなければならないと、生徒に切実に訴えかけた。生徒も真剣な様子でメモをとりながら話を聴く様子があった。
- ・講演後は生徒と一緒に給食を食べたり、お手玉で遊んだりなど、生徒との触れ合いを楽しんだ。

#### 3. 成果と課題

- ・2人の講師の話により、生徒は「戦争の悲惨さ」「平和の大切さ」について、強く感じる事ができた。
- ・本校では、校外学習において平和ミュージアム体験や夏休みの吉田空襲展の参加等も絡めて平和教育に繋げていきたい。
- ・長寿介護課の方々のサポートを受けるなど、今後も地域の機関とも連携しながらさまざまな活動を行っていきたい。

